

## 山菜の王様

# “じねんじょ「夢とろろ」”出荷始まる



愛知県有数のジネンジョ産地、豊田市旭地区で11月10日から“じねんじょ「夢とろろ」”の出荷が始まります。“じねんじょ「夢とろろ」”は同市稲武町にある愛知県農業総合試験場山間農業研究所が育成した品種で、天然と変わらない強い粘りと食味が良いのが特徴です。消費者からも好評で、旭自然薯組合（出荷組織の中で最大の組織）では、2003年からこの品種の栽培を本格化させてきました。パイプ栽培のため、まっすぐ伸びたきれいなジネンジョが採れるのが特長です。今年は、病害虫の発生が少なかったこともあり、順調に成長していることから高品質なジネンジョが期待されます。

### 【取材内容】

日時：11月10日（木）午前9:00～午前10:00

場所：JAあいち豊田 旭営農センター

（豊田市小渡町七升時13-13）

JA施設へ生産者がジネンジョを出荷します

※旭営農センターでの取材となります

※新型コロナウイルス感染防止のため、農家のほ場での取材はできませんのでご了承ください



販売日：11月15日（火）～12月9日（金）

販売場所：JAあいち豊田旭営農センター  
グリーンセンター藤岡店

出荷量：今年は3トン出荷する予定です  
（昨年は2.6トンを出荷）



▲お歳暮など贈答用にも人気

### <旭自然薯組合>

30戸の農家が所属し、合わせて約160アールのほ場で“じねんじょ「夢とろろ」”を栽培。1978年からジネンジョ栽培に取り組んでいます。山口県からパイプ栽培の指導を受け、県内では初のパイプ栽培を取り入れ、2003年から“じねんじょ「夢とろろ」”の栽培を始めました。ジネンジョは種イモ作りに1年かかり、それを植えかえて、さらに約7ヵ月かけて栽培し出荷しています。

<お問い合わせ先> ※取材にお越しいただける際は、事前にご連絡ください。

JAあいち豊田 営農生活部 旭営農センター 担当：兵藤

〒444-2846 豊田市小渡町七升時13-13 電話（0565）68-2223

または、広報課 電話（0565）31-2361 E-mail k.koho@toyota.aichi-ja.or.jp

